



# DME-N Network Driver インストールガイド for M7CL/LS9/DSP5D

## ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、〈ソフトウェア使用許諾契約〉を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をされた場合には下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みください。ご同意いただけない場合は、ダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をおやめください。すでにダウンロードやインストールをしたが、下記条項にご同意いただけないという場合には、速やかに本ソフトウェアを削除してください。

### ソフトウェア使用許諾契約

#### 1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- お客様のコンピューターにおいて使用することができます。
- バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

#### 2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用MIDIデータ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

#### 3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

#### 4. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

## 5. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様がソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

## 6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- 弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- 弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- 弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

## 7. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

## ご注意

- このソフトウェアおよびインストールガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- 巻頭にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。
- このソフトウェアおよびインストールガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびインストールガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、下記URLをご参照ください。  
<http://proaudio.yamaha.co.jp>
- このインストールガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

DME-N Network Driverを使用する場合は、必ず以下のバージョンをインストールしてください。

Windows XP : 1.0.1以降

Windows Vista (32bit) : 1.2.0以降

Windows Vista (64bit) : 1.2.1以降

Windows 7 : 1.2.1以降

Windows 8 : 1.2.3以降

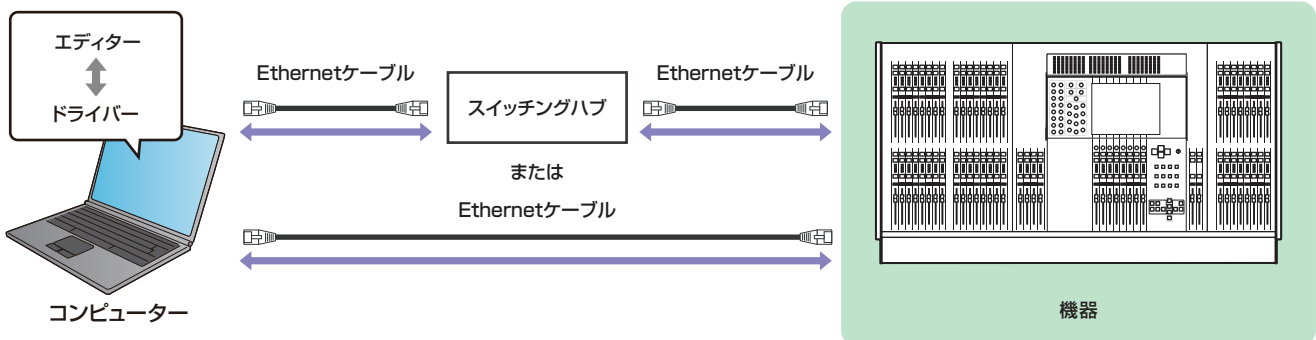
## DME-N Network Driverとは

機器とコンピューターをEthernet経由で接続するためには、コンピューターにDME-N Network Driverを正しくインストールする必要があります。

DME-N Network Driverは、コンピューターからEthernetケーブルを通じて、機器にMIDI信号を送信したり、機器からMIDI信号などを受信したりするためのソフトウェアです。

## コンピューターと機器の接続

Ethernetケーブルを使用し、スイッチングハブなどを経由してコンピューターと機器を接続します。コンピューターと機器をEthernetケーブルで直接接続することもできます。



**NOTE** コンピューターとM7CLを直接接続する場合は、クロスケーブルを接続してください。

## 動作環境

エディターの動作環境に準じます。詳しくは、各エディターのインストールガイドをご参照ください。

## コントロールパネルの表示方法

コントロールパネルの表示方法はOSによって異なります。

### Windows XP / Vista / 7の場合

[スタート] → [コントロールパネル]を選びます。

### Windows 8の場合

- 1 スタート画面で[デスクトップ]をクリックします。  
デスクトップが表示されます。
- 2 デスクトップの右上または右下にカーソルを移動します。  
チャームバーが表示されます。
- 3 [設定] → [コントロールパネル]を選択します。

## インストール方法

- 1 管理者権限のあるアカウントでWindowsにログオンします。
- 2 ダウンロードした圧縮フォルダーの解凍先にある「setup.exe」をダブルクリックします。  
セットアップの準備が終わると、「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。  
**NOTE** Windows Vista /7/8の場合、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合があります。  
[続行]または[はい]ボタンをクリックしてください。
- 3 [次へ]をクリックします。DME-N Network Driverがインストールされます。  
インストールが終わると、セットアップ完了メッセージが表示されます。
- 4 インストールしたDME-N Network Driverを有効にするために、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認して、[完了]をクリックしてください。  
コンピュータが再起動します。

これでDME-N Network Driverのインストールが完了しました。

## アンインストール方法

### Windows XPの場合

- 1 [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除]を選びます。  
「プログラムの追加と削除」ダイアログボックスが開きます。
- 2 Yamaha DME-N Network Driverの[削除]をクリックします。  
ダイアログボックスが表示されますので、画面の指示に従って削除ください。  
**NOTE** アンインストール後にコンピュータを再起動せずに再インストールしようとする、下記メッセージを表示してインストールを中断します。  
「コンピュータを再起動した後、本インストーラを再起動してください。」  
一旦コンピュータを再起動してからインストールしてください。

### Windows Vista / 7 / 8の場合

- 1 [コントロールパネル] → [プログラムと機能]または[プログラムのアンインストール]を選びます。  
「プログラムと機能」ダイアログボックスが開きます。
- 2 Yamaha DME-N Network Driverを選択して[アンインストール]をクリックします。  
ダイアログが表示されますので、画面の表示に従って削除してください。  
**NOTE** 「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示されることがあります。[続行]または[はい]ボタンをクリックしてください。  
**NOTE** アンインストール後にコンピュータを再起動せずに再インストールしようとする、下記メッセージを表示してインストールを中断します。  
「コンピュータを再起動した後、本インストーラを再起動してください。」  
一旦コンピュータを再起動してからインストールしてください。

# セットアップ方法

## 1 管理者権限のあるアカウントでWindowsにログオンします。

**NOTE** DME-N Network Driverを使用する場合、コンピューターと機器が正しく接続/設定されている必要があります。接続に関しては「[コンピューターと機器の接続](#)」をご参照ください。設定に関しては「[TCP/IPの設定](#)」や「[故障かな?と思ったら\(Q&A\)](#)」をご参照ください。

## 2 「コントロールパネル」を表示します。

## 3 「コントロールパネル」の表示設定がカテゴリ表示の場合は、以下のように表示方法を切り替えます。

### Windows XPの場合

「コントロールパネル」の左上の[クラシック表示に切り替える]をクリックしてください。

### Windows Vistaの場合

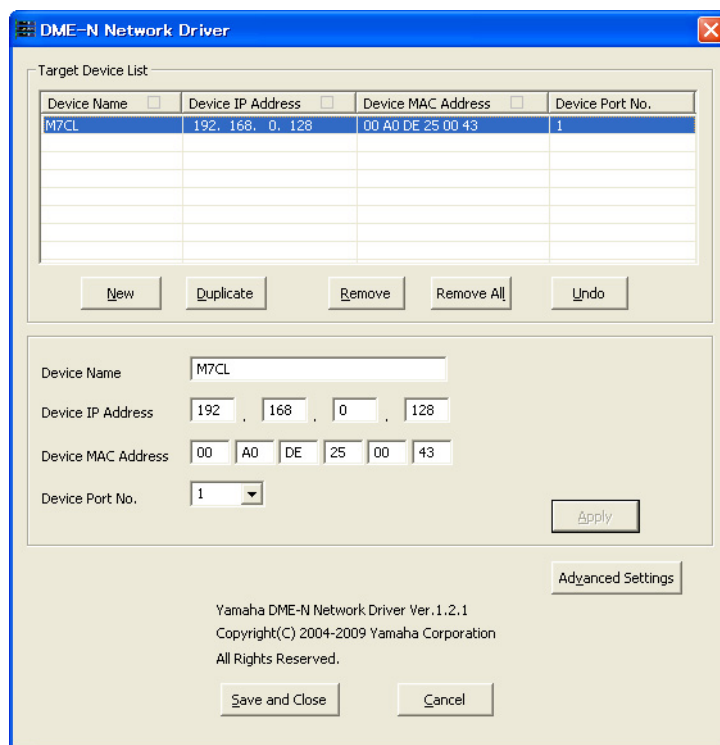
「コントロールパネル」の左上の[クラシック表示]をクリックしてください。

### Windows 7/8の場合

「コントロールパネル」の右上の[表示方法]をクリックして、[大きいアイコン]または[小さいアイコン]を選択してください。

## 4 「DME-N Network Driver」アイコンをダブルクリックします。

「DME-N Network Driver」ダイアログボックスが開きます。

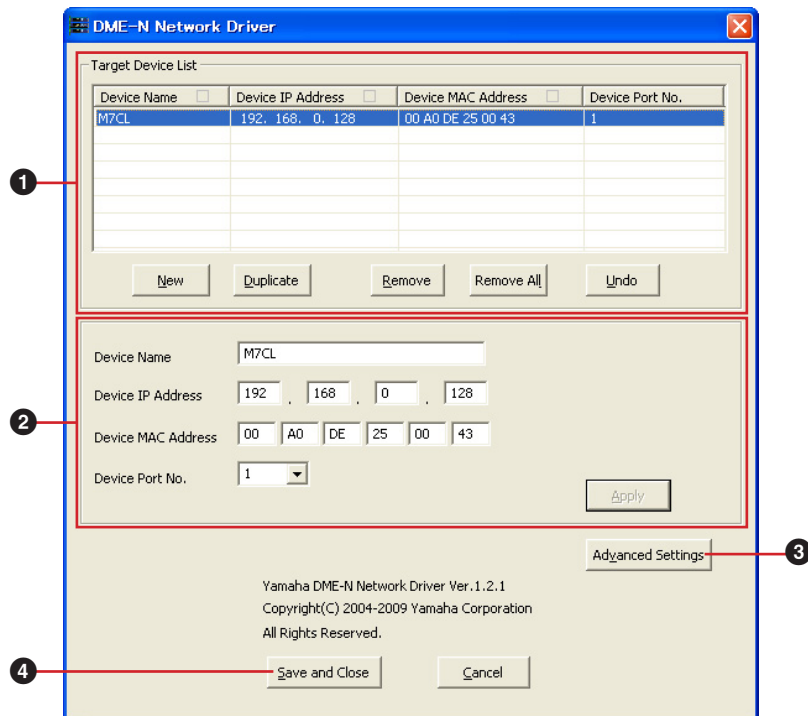


**NOTE** Windows Vista /7/8の場合、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示されることがあります。[続行]または[はい]ボタンをクリックしてください。

**NOTE** DME-N Network Driverを使用するアプリケーションが起動していると、「設定を変更する場合にはDME-N Network Driverを使用中のアプリケーションをすべて終了する必要があります。」のメッセージが表示されます。DME-N Network Driverを使用するアプリケーションが起動している間は、DME-N Network Driverの設定を変更することはできません。

## 5 「DME-N Network Driver」ダイアログボックスでドライバーの状態を設定します。

Target Device List ①に接続する機器が表示されていない場合は、[New]ボタンをクリックしてデバイス情報 ②でIPアドレスなどの情報を入力します。[Apply]ボタンをクリックして機器を登録してから、[Save and Close]ボタンをクリックして設定を保存します。接続する機器が1台のみでネットワーク設定が初期設定の場合は、デバイス情報 ②のDevice IP Addressを「192.168.0.128」(M7CL/LS9)または「192.168.0.129」(DSP5D)に設定すると通信できます。機器を複数接続する場合は、[Advanced Settings]ボタンをクリックして機器を自動検出(8ページ)すると便利です。



### ① Target Device List

登録されているすべてのDME-N Network Driverと通信する機器の名前、IPアドレス、MACアドレス、MIDIポート番号のリストを表示します。タイトルバーをクリックするとソートされます。このリストで選択した機器の情報は、デバイス情報(②)で表示/変更できます。

#### Device Name

機器の名前です。デバイス情報(②)のDevice Nameをご覧ください。

#### Device IP Address

機器のIPアドレスです。デバイス情報(②)のDevice IP Addressをご覧ください。

#### Device MAC Address

機器のMACアドレスです。デバイス情報(②)のDevice MAC Addressをご覧ください。

#### Device Port No.

機器のMIDIポート番号です。デバイス情報(②)のDevice Port No.をご覧ください。

#### [New]ボタン

新しく機器を追加します。デバイス情報(②)で情報を編集して[Apply]ボタンをクリックすると追加されます。

#### [Duplicate]ボタン

新しく機器を追加します。選択していた機器の情報がコピーされますので、デバイス情報(②)で情報を編集して[Apply]ボタンをクリックすると追加されます。

### [Remove]ボタン

選択した機器を削除します。リストの一番下以外の行を削除すると、削除した行より下の行は上にシフトします。

### [Remove All]ボタン

すべての機器を削除します。

### [Undo]ボタン

直前の状態に設定を戻します。一度だけ有効で、コントロールパネル起動時やUndoを行なった直後は、グレースアウト表示されて使用できません。

## ② デバイス情報

Target Device Listで選択したDME-N Network Driverと通信する機器の情報を表示/設定します。

### Device Name

機器の名前を表示/設定します。

初期値はUNIT1～UNIT256で、半角英数字で任意に設定できます。

### Device IP Address

機器のIPアドレスを設定します。機器本体で設定したIPアドレスをここに入力します。

**NOTE** [Device IP Address]の設定が正しくない場合、通信できません。

### Device MAC Address

機器のMAC (Media Access Control)アドレスを設定します。各機器本体のMACアドレスは製造時に決定され、変更することはできません。

MACアドレスを設定するのは、IPアドレスが誤って設定された場合に、誤った機器にデータが送られないようにするためです。機器のMACアドレスの確認方法については、各機器の取扱説明書をご参照ください。

**NOTE** Device MAC Addressの設定が正しくない場合、通信できません。

**NOTE** 実際につながっている機器のMACアドレスは変更できません。

### Device Port No.

機器のMIDIポート番号を設定します。この値は、デバイスIDとしても使用します。M7CL/LS9/DSP5Dと通信する場合は1に設定します。

**NOTE** Device Port No.の設定が正しくない場合、通信できません。

### [Apply]ボタン

Device Name、Device IP Address、Device MAC Address、Device Port No.の変更を反映します。Target Device List (①)で[New]ボタンや[Duplicate]ボタンをクリックしたあとは、このボタンをクリックするまで機器は追加されません。

## ③ [Advanced Settings]ボタン

「Advanced Settings」ダイアログボックスが開きます。

高度なセットアップを行ないます。詳細は「[高度なセットアップ方法](#)」をご覧ください。

## ④ [Save and Close]ボタン

ダイアログボックスの値を設定して、ダイアログボックスを閉じます。

DME-N Network Driverを使用するアプリケーションが起動しているときは使用できません。

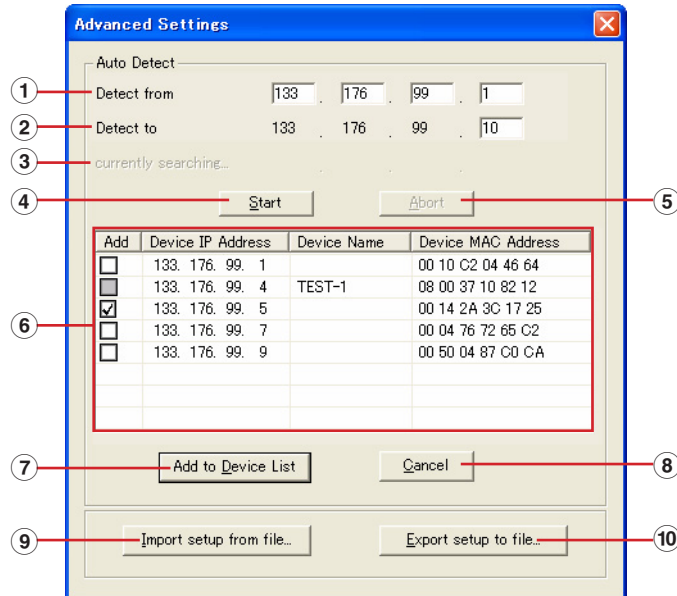
**NOTE** 値を設定せずにダイアログを閉じるには、[Cancel]ボタンをクリックします。

## 高度なセットアップ方法

「DME-N Network Driver」ダイアログボックスで[Advanced Settings]ボタンをクリックすると、[Advanced Settings]ダイアログボックスが開きます。

### 「Advanced Settings」ダイアログボックス

DME-N Network Driverと通信できる機器の自動検出や、設定情報のセーブ/ロードができます。



### Auto Detect

接続されている機器を自動的に検出します。

最大で、\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.1~\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.254の254のアドレスから検索します。

**NOTE** MACアドレスを検出できる機器は、PCと同じサブネットへ接続されている機器だけです。MACアドレスを検索する場合は、PCをあらかじめ同じサブネットに接続してIPアドレスを適切に設定してください。

#### ① Detect from

検索を開始するIPアドレスを設定します。

#### ② Detect to

検出を終了するIPアドレスを設定します。

#### ③ currently searching

検出中のIPアドレスを表示します。検出中以外は表示されません。

#### ④ [Start]ボタン

自動検出を行ない、検出デバイスリスト(⑥)を更新します。

検出中は、グレーアウト表示されて使用できません。

#### ⑤ [Abort]ボタン

自動検出を中止します。

検出中以外は、グレーアウト表示されて使用できません。



## ⑥ 検出デバイスリスト

検出したすべての機器のリストを表示します。  
初期状態では、何も表示されません。

### Add

チェックすると、[Add to Device List]ボタンでTarget Device Listに追加されます。すでに登録されている機器はチェックできません。

### Device IP Address

検出した機器のIPアドレスです。

### Device Name

検出した機器の名前が登録されている場合は、名前を表示します。登録されていない場合は何も表示されません。

### Device MAC Address

検出した機器のMACアドレスです。

## ⑦ [Add to Device List]ボタン

[Add]欄でチェックがついている機器を、Target Device Listに追加します。

## ⑧ [Cancel]ボタン

設定を更新せずにダイアログボックスを閉じます。

## ⑨ [Import setup from file]ボタン

異なる環境で作業を行なう場合、あらかじめ保存しておいた設定を読み込むことができます。  
クリックすると「既存のファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。  
ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックすると、設定を読み込みます。

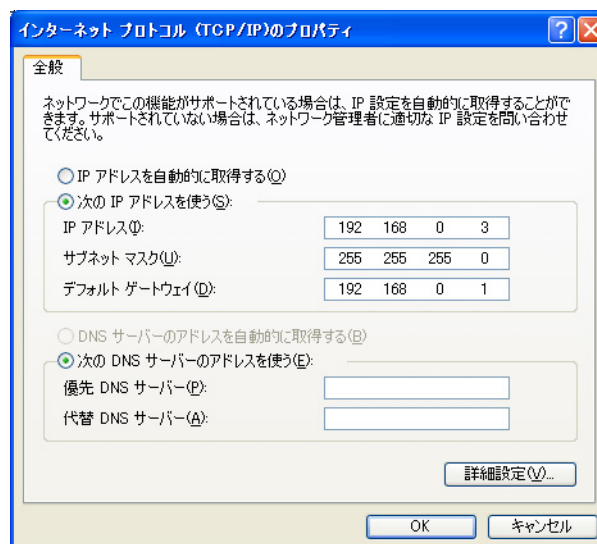
## ⑩ [Export setup to file]ボタン

異なる環境で作業を行なう場合、設定を保存しておくことができます。  
クリックすると「作業中のファイルを新しい名前で保存」ダイアログボックスが開きます。  
ファイル名を入力して[保存]ボタンをクリックすると、設定をファイルに保存します。

# TCP/IPの設定

## Windows XPの場合

- 1 「コントロールパネル」を表示します。
- 2 「コントロールパネル」の表示設定がカテゴリー表示の場合は、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。
- 3 [ネットワーク接続] → [ローカルエリア接続]をダブルクリックします。  
[ローカルエリア接続の状態] ダイアログボックスが表示されます。  
**NOTE** 「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログボックスが表示された場合、手順5に進みます。
- 4 [プロパティ]をクリックします。  
[ローカルエリア接続のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 5 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択して、[プロパティ]をクリックします。  
[インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 6 [次のIPアドレスを使う]をクリックします。
- 7 [IP アドレス]にコンピューターのIPアドレス、[デフォルトゲートウェイ]にゲートウェイのIPアドレス、[サブネットマスク]に「255.255.255.0」を入力します。  
**NOTE** 機器とコンピューターを1対1で接続する場合、IPアドレスを「192.168.0.3」にすることをおすすめします。スイッチングハブを使って複数の機器と接続する場合の設定方法については各エディターのインストールガイドをご参照ください。  
**NOTE** DMEと同じサブネットに接続する場合は、ゲートウェイのIPアドレスはホストアドレスを254にしてください。



- 8 [OK]をクリックします。
- 9 コンピューターを再起動します。

## Windows Vista /7/8の場合

**1** [コントロールパネル] → [ネットワークと共有センター]または[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックまたはダブルクリックします。

「ネットワークと共有センター」が表示されます。

**2** 「ネットワークと共有センター」の左側の「タスク」一覧の中から[ネットワーク接続の管理]または[アダプターの設定の変更]をクリックし、[ローカルエリア接続]をダブルクリックします。

「ローカルエリア接続の状態」ダイアログボックスが表示されます。

**NOTE** 「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示されることがあります。[続行]または[はい]ボタンをクリックしてください。

**NOTE** 「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログボックスが表示された場合、手順4に進みます。

**3** [プロパティ]をクリックします。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

**NOTE** 「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示されることがあります。[続行]または[はい]ボタンをクリックしてください。

**4** [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択して、[プロパティ]をクリックします。

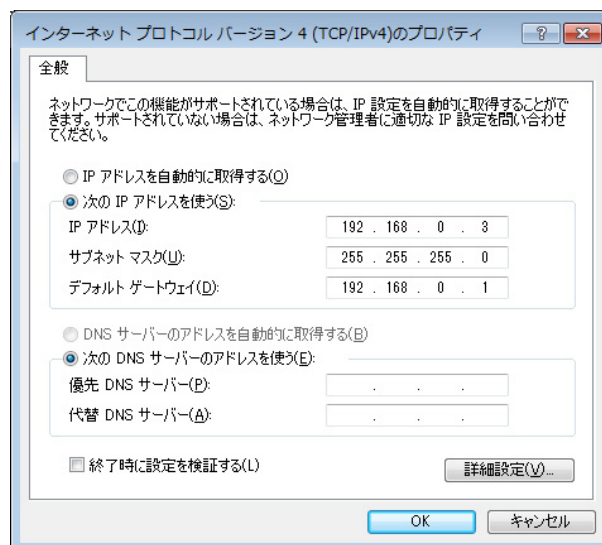
「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

**5** [次のIPアドレスを使う(S)]をクリックします。

**6** [IP アドレス]にコンピューターのIP アドレス、[デフォルト ゲートウェイ]にゲートウェイのIPアドレス、[サブネットマスク]に「255.255.255.0」を入力します。

**NOTE** 機器とコンピューターを1対1で接続する場合、IPアドレスを「192.168.0.3」にすることをおすすめします。スイッチングハブを使って複数の機器と接続する場合の設定方法については各エディターのインストールガイドをご参照ください。

**NOTE** DMEと同じサブネットに接続する場合は、ゲートウェイのIPアドレスはホストアドレスを254にしてください。



**7** [OK]をクリックします。

## 故障かな?と思ったら(Q&A)

Ethernet経由でコンピューターから機器を操作した場合、正常に動作しない

● **DME-N Network Driverはインストールしましたか?**

● **Ethernetケーブルは正しく接続されていますか?**

「[コンピューターと機器の接続](#)」をご参照ください。

● **DME-N Network Driverの設定は正しいですか?**

「[セットアップ方法](#)」をご参照ください。

● **機器本体のIPアドレスは正しいですか?**

機器のIPアドレス設定については各機器の取扱説明書をご参照ください。コンピューターと機器を1対1で接続する場合は、次の初期設定値に合わせることをおすすめします。

IPアドレス	192.168.0.128 (M7CL/LS9)、 192.168.0.129 (DSP5D)
ゲートウェイアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0

スイッチングハブを使って複数の機器と接続する場合は、各エディターのインストールガイドをご参照ください。

● **コンピューターのネットワーク設定は正しいですか?**

「[TCP/IPの設定](#)」の手順にしたがって、ネットワーク設定をご確認ください。

コンピューターと機器を1対1で接続する場合は、次の設定値に合わせることをおすすめします。

IPアドレス	192.168.0.3
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1

スイッチングハブを使って複数の機器と接続する場合は、各エディターのインストールガイドをご参照ください。

● **機器およびスイッチングハブなどの周辺ネットワーク機器の設定は正しいですか?**

詳細は機器およびスイッチングハブなどの周辺ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。

● **エディターおよびStudio Managerのポート設定は正しいですか?**

エディターおよびStudio Managerの入出力ポートとも、接続する機器のポートを選択してください。

● **DME-N Network Driverは最新のをインストールしましたか?**

ヤマハホームページから最新のドライバーをインストールできます。

<http://proaudio.yamaha.co.jp>

## ● セキュリティソフトの設定は正しいですか？

### Windowsファイアウォールをご利用の場合

#### Windows XPの場合

[コントロールパネル] → [Windowsファイアウォール] → [全般]タブをクリックします。[例外を許可しない]のチェックボックスがチェックされていないことを確認してください。

#### Windows Vistaの場合

[コントロールパネル] → [Windowsファイアウォール] → [設定の変更] → [Windows ファイアウォールの設定] → [全般]タブをクリックします。[すべての着信接続をブロックする]のチェックボックスがチェックされていないことを確認してください。

#### Windows 7/8の場合

[コントロールパネル] → [Windowsファイアウォール] → [詳細設定]をクリックします。[受信の規則]や[監視] → [ファイアウォール]の設定で、DME-N Network Driverの通信が許可されていることを確認してください。

### そのほかのセキュリティソフトをご利用の場合

DME-N Network DriverがTCPのポート番号12300を使用できるようにセキュリティソフトを設定してください。